

通勤時のケガと対策

通勤災害とは、労働者の通勤途中における負傷等を伴う災害のことで、出勤時に交通事故に遭ったり、徒歩で転倒してケガをした場合に適用されます。その通勤災害がトーコー内にて昨年度に比べ増加傾向にあります。



●通勤災害事例（今期の通勤災害事例の一部です。）

- ・バイク通勤中、マンホールでタイヤが滑り転倒→骨折
- ・バイク通勤中、交差点で対向バイクと接触→打撲
- ・徒歩で退勤時、足がもつれて転倒→打撲
- ・雨の日の自転車通勤中、水たまりで後輪が滑り転倒→打撲
- ・徒歩通勤時、急いでいたので小走りで移動し転倒→打撲



通勤災害の危険キーワード

雨の日、マンホール、交差点、小走り



●通勤災害の防止対策



★余裕を持った出勤をしよう

焦らず走らず、余裕を持った出勤が事故防止につながります。

★雨の日と寒い日は特に注意しよう!

マンホールやグレーチング（道路の側溝などに使われる金属でできた格子状の蓋）はよく滑ります。また、冬場の道路凍結はとても危険です。車・バイク・自転車通勤の方は特に注意を!

★徒歩出勤も要注意!

段差につまずいたり、雨の日のマンホール・グレーチングは徒歩でも滑りやすく注意が必要です。

★ながらスマホはもちろん厳禁!

歩きスマホやスマホをしながらの運転はとても危険です。絶対にやめましょう!



家を出てから
家に帰るまでが
お仕事ですよ

★今月の安全衛生川柳～雨の日のマンホールやグレーチングはよく滑ります。十分注意しましょう!

雨の日は 鉄板注意 慎重に

新潟支店 スタッフさんの作品

